

# 秋月城下町を歩いてみよう



古処山



秋月中学校

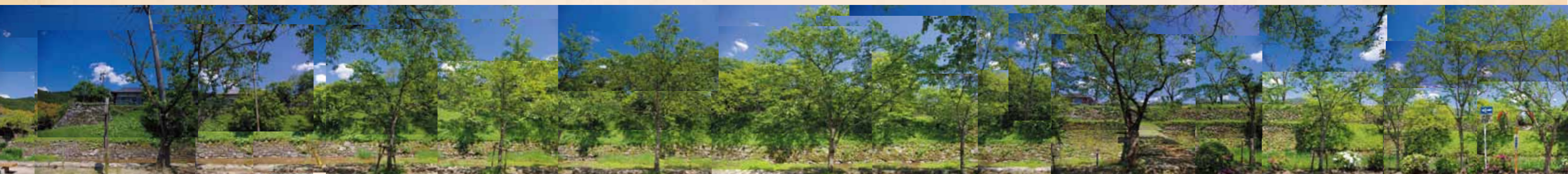


瓦坂



桜の名所 杉の馬場

長屋門へ



杉の馬場通り

杉の馬場通り



「秋月」の近世城下町としての町割は、寛永元年（1624）に黒田長興が行った縄張りを元型としています。江戸時代中期以降は、町地が中心地区から外側へ拡大しましたが、町割り全体には大きな変化はありませんでした。しかし、明治の廃藩により城下町としての機能を失った秋月では、氏族の急激な流出により、武家屋敷地の多くが田畑に転じたため、以降は町地が中心となって存続してきました。近代を通じて今日まで大規模な災害もなく、また昭和初期に行わ



れた道路の建設と拡幅を伴う桁形の改変や交差点の角切りを除くと著しい開発等もありませんでした。これにより、秋月の城下町としての基本的な構造は維持され、秋月城跡散策の際に、明和期や文政期の城下町絵図（古地図）を持ち歩いてもさして困ることはなく、周辺の豊かな自然と相まって城下町らしい歴史的風地をよく伝えています。また、平成10年には国の重要伝統的建造物群保存地区にも指定されています。

秋月城下絵図 ▶  
(福岡県立図書館所蔵)

